

剰余金についての実施状況報告

基本協定書第42条において定められている「毎事業年度の収支において剰余金（税引後の当期純利益をいう。）が生じた場合は、剰余金の額に100分の10を乗じた額以上の額を次事業年度において地域リハビリテーションの充実のために充てなければならない」との項目に関する令和元年度の報告を致します。

平成30年度当期純利益・・・・・・・・76,066,264円

地域リハビリテーションの充実のための費用の額・・・・7,606,627円以上
(以下「地域リハ充実費」という)

■令和元年度における地域リハ充実費の活用について

- ① 開院から現在まで無料で行っている当院退院患者への退院後フォローアップ外来を引き続き無料にて継続を実施すべく、地域リハ充実費を活用した。

予定額 112.9万円

■実施結果■

当院退院患者に対し、無料でリハビリに関するフォローアップを行なった。

フォローアップ件数 90件

報酬相当額 74.6万円

人件費相当額 27.0万円 合計 **101.6万円・・・・・・・・①**

- ② 市内回復期病院の連携の会の事務局を当院で担い、研修活動や、募集状況の取りまとめを行うことで、市内回復期病院間での連携を深め、各病院の質の向上を目指した。

予定額 73.0万円

■実施結果■

船橋市回復期リハ病棟連携の会 コア会議を年2回、研修（他病院主催）を年2回（直前で中止になった1回を含むと準備としては3回）行なった。

・研修参加1時間分人件費・・・・2,500円×2時間×11人×2回⇒11.0万円

・コア会議1時間分人件費・・・・2,500円×2時間×3人×2回⇒3.0万円

・事務局議事録・開催案内作成人件費・・・・2,500円×年100時間×2名⇒50.0万円

ミーティング及び研修会人件費として、**64.0万円を要した。・・・・・・・・②**

【活動内容】

構成病院 ・千葉徳洲会病院・船橋二和病院・セコメディック病院・船橋総合病院・下総病院
・東船橋病院・船橋市立リハビリテーション病院

体制 代表：千葉徳洲会病院 池田喜久子医師 、 事務局：船橋市立リハビリテーション病院

令和元年 6 月 26 日セコメディック病院にて「退院後フォローアップについて」というテーマにてグループディスカッションを開催。参加者 62 名。令和元年 7 月 3 日千葉徳洲会病院にて、コア会議を開催。次回研修の内容を確認。コア会議参加者 16 名。令和元年 10 月 16 日、千葉徳洲会病院にて、「認知症について～暴言・暴力、離棟・離院に対して～」というテーマにてグループディスカッションを開催。研修会参加者 65 名。令和元年 11 月 20 日千葉徳洲会病院にて、コア会議を開催。次回研修の内容を確認。コア会議参加者 15 名。令和 2 年 3 月 11 日、船橋二和病院にて、「回復期病棟における困難事例～『健康の社会的決定要因（SDH）』の視点から～」というテーマにてグループディスカッション開催予定であったが新型コロナウイルスの影響で中止。それぞれの回に対しての開催案内や資料作成等を行い、事務局機能として活動し、その為の person 費が上記②の金額となった。

③先進リハビリ機器の紹介

回復期を目指す病院や地域の介護事業所に、市内他病院では導入されていない、先進リハビリ機器やロボットを紹介すると共に、これらを用いてリハビリの重要性を説明しようとした。

当初予定額 557.5 万円

■実施結果■

令和元年度はリハビリ機器の見学・研修を希望する病院や施設が無かったため行わなかった。

合計 0 万円・・・・・・・・③

④ 病院見学会の実施 地域の民生委員や病院等に向けた見学会を実施し充実したリハビリ体制を説明した。

予定額 38.5 万円

■実施結果■

オープンホスピタル 民生委員、自治会、社会福祉協議会、在宅介護支援センターの方を対象に
年 2 回の企画・開催

R1 年 9 月 23 日 15 名参加

R2 年 2 月 24 日 42 名参加予定も新型コロナウイルスの影響で直前に中止。

- ・管理職人件費 . . . 3,000 円×1.5 時間×管理職 5 名対応⇒2.3 万円
- ・企画や資料作成に関する時間外費用 . . . 3,000 円×20 時間×管理職 2 名×2 回⇒24 万円

回復期リハビリ病院への見学会 年 3 回、1 回 4 時間 チーフ・TM・部長で対応

R1 年 6 月 19 日 あずま脳神経外科病院 Dr1 名・NS3 名・PT2 名・OT1 名・SW2 名の 9 名

R1 年 8 月 30 日 七沢リハビリテーション病院 Dr1 名・NS3 名・PT2 名の 6 名

R1 年 12 月 3 日 鎌倉リハビリテーション聖テレジア病院 NS1 名・OT1 名・SW1 名の 3 名

各々の病院に対して、当院の運営状況、管理方法を共有し当院のリハビリ体制を説明した。

- ・管理職人件費 . . . 3,000 円×4 時間×管理職 20 名（3 回分）対応⇒24 万円
- ・当日資料作成に関する時間外費用 . . . 2,500 円×2 時間×3 回⇒1.5 万円

紹介元急性期病院への見学会 年 4 回、1 回 6 時間 チーフ・TM・部長で対応

R1 年 7 月 10 日、7 月 27 日、7 月 31 日、11 月 6 日 に開催

船橋中央病院、千葉西総合病院、済生会習志野病院、千葉県救急医療センター、東京歯科大学市川総合病院、行徳総合病院、谷津保健病院、船橋整形外科病院、千葉大学病院、新東京病院の 10 病院より NS11 名・PT3 名・SW15 名の 29 名が参加

当院紹介元である急性期病院の退院支援・地域連携担当者に対して、今後当院へ患者を紹介する際に具体的なイメージを持って頂くべく、回復期リハ病棟の実際、退院した患者のその後、船橋リハ病院の特長等を説明。施設を実際に見て、当院の病院食を食べ、訓練室やカンファレンス場面を見学して頂いた。

- ・管理職人件費 . . . 3,000 円×6 時間×管理職 22 名（4 回分）対応⇒39.6 万円
- ・当日資料作成に関する時間外費用 . . . 2,500 円×2 時間×4 回⇒2 万円
- ・病院食および準備にかかる費用 . . . 800 円×29 名⇒2.3 万円

見学会対応費用として、**95.7 万円の費用を要した。** ④

⑤ 退院前の家庭訪問 多くの患者・利用者に対して家庭訪問を実施し、家庭環境の改善を提案することで、家族をはじめ、業者・近隣住民へリハビリの環境整備の重要性を説いた。

予定額 82.5 万円

■実施結果■

合計 425 件の家庭訪問をおこなった。(1 回あたり 2 時間、1 人～3 人で訪問。平均 1.8 人)

家庭訪問 1 人 1 回あたりの人件費・・・1650 円×1.8 人×2 時間×425 件⇒約 252.5 万円

家庭訪問費用として、252.5 万円の費用を要した・・・⑤

⑥ 地域会議への参加活動 リハビリに関する会議を数多く行い、多職種へリハビリの重要性を説いた。

予定額 112.5 万円

■実施結果■

参加者の 1 回あたり人件費 1650 円×1 時間×644 件⇒約 106.3 万円

106.3 万円の人件費を要した・・・⑥

⑦ 地域連携推進委員会の活動 委員会の活動を通し、市内施設職員や、一般住民へリハビリの重要性を説いた。

予定額 64.4 万円

■実施結果■

・委員会・・・12 回×1 時間×12 名×2500 円(時間外勤務のため)⇒36 万円

・施設間交流・・・老健 9 事業所 26 名にお越し頂き、当院から 40 名参加して
R2 年 3 月 9 日開催予定も新型コロナウイルスの影響で直前に中止
開催および中止案内作成人件費・・・2,500 円×10 時間⇒2.5 万円

・福祉フェスティバル・・・1 回×8 時間×8 名×1650 円⇒約 10.6 万円 (10/19 ビビット南船橋)

・夏見地区福祉祭り・・・1 回×4 時間×3 名×1650 円⇒約 2.0 万円 (9/28 夏見公民館)

地域連携推進委員会の人件費として、51.1 万円を要した・・・⑦

⑧市民公開講座 患者家族教室と市民公開講座にてリハビリの重要性を説いた。

予定額 135.8 万円

■実施結果■

患者家族教室を年 11 回（直前で中止になった 3 月の 1 回を含むと準備としては 12 回）行った。

R2 年 3 月 21 日に実施予定だった市民公開講座も中止となった。

・ミーティング人件費 . . . 2,500 円×2 時間×10 人×13 回⇒65.0 万円

・研修会当日人件費 . . . 1,650 円×3 時間×10 人×11 回⇒54.5 万円

・当日資料作成に関する時間外費用 . . . 2,500 円×2 時間×1 名×13 回⇒6.5 万円

患者家族教室の運営に関する人件費として、126.0 万円の費用を要した。 ⑧

⑨地域交流会 患者・家族・近隣住民に向けて交流できる場を設け、様々な交流が生まれ、リハビリ相談を行なう等の対応が出来、リハビリの重要性を説いた。

予定額 115.0 万円

■実施結果■

患者と退院患者及びその家族に向けて開催される、参加者無料の地域交流会を行なっています。

退院患者と交流することで患者に対して、継続的なリハビリの重要性を啓発することができ、また、退院患者が病院を訪れることでリハビリを継続して行なっているかの確認など、フォローアップを行なうことができます。

開催費用として 118.6 万円を要した。 ⑨

(R1 年 8 月 25 日夏祭り実施費用 80 万円 R1 年 12 月 28 日餅つき大会実施費用 38.6 万円)

⑩ 市内中学校の職場体験 市内複数の中学校より、職場体験の依頼があり、実施した。

予定額 49.8 万円

■実施結果■

R1 年 11 月 7 日・8 日 前原中学校 4 名 海神中学校 2 名 各職種教育研修部チーフ対応

R1 年 12 月 5 日・6 日 二宮中学校 4 名 各職種教育研修部チーフ対応

病院紹介・職種紹介・訓練室見学を実施した。また、書類整理・訓練用書類作成手伝い、機器整備手伝い、事務業務手伝い、等いくつかの業務を体験してもらった。

・先生との打合せに関する人件費 3 校分 3,000 円×1 時間×3 校×2 回⇒1.8 万円

・当日対応職員人件費 管理職複数職種 10 名 (2 日分)

日給 2 万円×10 名 (2 日分) ×2 回⇒約 40 万円

中学校の職場体験の運営に関する人件費として、41.8 万円の費用を要した。 . . . ⑩

実施結果	予定金額	使用金額
① 退院フォローアップ外来	112.9 万円	101.6 万円
② 市内回復期病院間での連携	73.0 万円	64.0 万円
③ 先進リハビリ機器の紹介	557.5 万円	0 万円
④ 病院見学会の実施	38.5 万円	95.7 万円
⑤ 退院後の家庭訪問	82.5 万円	252.5 万円
⑥ 地域会議への活動参加	112.5 万円	106.3 万円
⑦ 地域連携委員会の活動	64.4 万円	51.1 万円
⑧ 市民公開講座	135.8 万円	126.0 万円
⑨ 地域交流会	115.0 万円	118.6 万円
⑩ 市内中学校の職場体験	49.8 万円	41.8 万円
合計	1341.9 万円	969.6 万円

基本協定書第42条に則り、令和元年度の地域リハ充実費用は 7,606,627 円以上の活用となっております。

上記①から⑩までの金額をまとめると、9,696,000 円となり、この金額を持って地域リハ充実費といたしましたので、ご報告致します。

以上